

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：2年

留学先大学：キール大学

現在の学期：Semester 2

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	10:00-11:00 Education in Britain: past, present, future (Lecture) 12:00-13:00 Education in Britain: past, present, future (Tutorial)
水	9:00-11:00 British Cultural Studies
木	
金	10:00-11:00 Too poor to Learn: Poverty, Education and Social Policy (Lecture) 11:00-12:00 Too poor to Learn: Poverty, Education and Social Policy (Tutorial) 12:00-14:00 English for Academic Purposes 4
土・日	

履修科目や近況について

<授業について>

Education in Britain: past, present, futureはその名の通り、イギリスにおける教育の歴史と現在、将来の動向について学びます。Too poor to Learn: Poverty, Education and Social Policyでは、イギリスの貧困問題が教育にどのような影響を与えているかについて学びます。上の2つの授業はLectureとTutorialに分かれていて、Lectureで教授の講義を聴き、Tutorialで与えられたテーマに関してディスカッションを行います。British Cultural Studiesは交換留学生のみが受講できる授業で、イギリスの王室や地理、文化などについて学んでいます。English for Academic Purposes 4は留学生が少人数クラスに分けられて、アカデミックライティングやパラフレーズなどの練習をします。私が受講している授業は各回で課題が出るわけではなく、最終課題として2000字程度のエッセイを課されます。しかし予習は必須です。特に慣れるまでは教授や生徒の話すスピードについていけなかったり、専門用語が難しく内容が理解できなかったりするので、事前に授業スライドやリーディング資料を読んで、分からない単語は調べておくようにしてい

ます。特に Tutorial では学生同士でディスカッションを行うので、授業前にテーマに対する自分の意見を考えておくと、ディスカッションでもきちんと発言できると思います。

<日常生活について>

寮での生活：私は Lindsay Hall のクラシックタイプという寮に住んでいるのですが、来たばかりの頃は廊下や部屋の床が汚く、衛生面に関してかなりストレスを感じていました。ロストバゲージしてしまい、最初の1週間ほどは持ってきた荷物の一部が手元になかったこともあり、部屋の中では靴下のみで生活していたのですが、数分室内を歩き回っただけで靴下が汚くなるので、ルームシューズのようなものを持っていくことを強くお勧めします。スリッパを買ってからは、ストレスもかなり軽減されました。同じタイプの寮に住んでいる友人の部屋には、床に絨毯のようなものが引いてあり靴下で歩いても汚れないのですが、私の部屋には絨毯がなく、代わりに部屋が広いという感じなので、寮に関しては運もあります。

食生活：昼食は授業のある日は、キッチンテーブルという大学のフードコートで食べています。夜は基本自炊で、時々友達と一緒に作ったり、パーティーに行ったりしています。絶対に日本食が恋しくなるので、インスタント味噌汁やお米を持っていくと良いと思います。私は日本から少量のお米と、電子レンジでお米を炊くことができる容器を持ってきたので、それを重宝しています。アマゾンプライムスチューデントは6カ月間無料で加入できるので、それを使ってお米やその他の必要なものは購入できます。また、大学から一番近い街の Newcastle Under Lyme には JUST SHOP というアジアンスーパーマーケットがあるので、そこでも日本の食品や調味料を購入できます。普段の買い物は大学内にある Co-op でしています。物価の高さには常に悩まされていますが、最近は日本円に直して考えるのをやめました。

↓キッチンテーブルのご飯（左）とパーティーの様子（右）



洗濯：各寮にコインランドリーがあるのですが、洗濯と乾燥を含めて5ポンドほどかかるので、週に一回まとめて洗濯するようにしています。

<society について>

Society は日本の部活やサークルのようなもので、私は Japanese Cultural Society に所属しています。この Society には日本人留学生だけでなく、日本の文化に関心のある他国の学生も大勢所属しているので、色々な国の人と話すことができます。活動頻度は2週間に1回で、先日は皆で恵方巻を作りました。



<友人関係について>

最初のうちは友達ができるか不安でしたが、友達を作るためなるべく留学生イベントに参加し、積極的に話しかけるようにしました。そうしているうちに韓国や香港、アメリカ、フランスなど様々な国から来た留学生と仲良くなりました。最近友人と数人でマンチェスターを観光しました。また Society でも友人が増えました。寮のキッチンでは数人と会いますが、挨拶してもそっけない人もいれば、会話を広げてくれる人もいます。

マンチェスター（左）とニューカッスル（右）の風景

